

全ての子どもたちの可能性を引き出す、 個別最適な学びと、協働的な学びの 実現に向けた 先端技術利活用とは？

日時

令和3年
3月9日(火) 13:00 - 16:00(予定)

開催形態

オンラインでの開催を予定しています。

対象

教育委員会の情報教育担当指導主事、
各学校でICT活用を推進している教員、
先端技術を活用した教育に興味のある企業関係者等
どなたでも、ご参加いただけます。

参加費

無料

主催

文部科学省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課
／ 初等中等教育企画課 学びの先端技術活用推進室
(お問い合わせ) MAIL: jogai@mext.go.jp

申込



以下のURLで視聴方法をお知らせしています。
<https://www.uchida.co.jp/seminar/210309/index.php>

事業推進委員

小柳 和喜雄	関西大学総合情報学部 教授
佐藤 和紀	信州大学学術研究院教育学系 助教
白水 始	国立教育政策研究所 総括研究官
菅原 弘一	仙台市立錦ヶ丘小学校 校長
高橋 純	東京学芸大学 准教授
西田 光昭	柏市教育委員会 教育研究専門アドバイザー
藤村 裕一	鳴門教育大学大学院 准教授

実証地域

埼玉県教育委員会、岐阜県教育委員会、
京都市教育委員会、箕面市教育委員会、
安芸太田町教育委員会、国立大学法人京都教育大学

Society5.0 時代で求められる 資質・能力の育成のために

GIGA スクール構想に伴い、今年度中にほとんどの自治体の小中学校で、児童生徒に一人一台のPC環境が整備されます。文部科学省では、教育の質の向上を図り、「子供の力を最大限引き出す学び」を実現するため、教育のあらゆる場面においてICTを基盤とした様々な先端技術を効果的に活用する実証研究を行っています。本成果報告会では、実証地域から成果と課題を報告いただき、さらには先端技術を提供している企業や、本事業の事業推進委員から話題提供をいただきます。

イベント概要(予定)



● 実証地域の取組発表

「児童生徒のどのようなデータを集めたの？」
「教育データを授業づくりに生かすポイントは？」
「先端技術の利活用により
どんな成果や課題があったの？」
等、実証地域から具体的な取組を紹介します。

● 技術ベースの事例紹介

「AR・VRって教育でどう使えるの？」
「協働学習に役立つツールとは？」
先端技術を提供する企業が事例をもとに紹介します。

● 事業推進委員による

パネルディスカッション

「これからの教育のスタンダードって？」
「データの利活用を進めるポイントは？」
学校における先端技術の利活用について議論します。